

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、芳川圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年11月10日（金）9時半から11時まで
参加者	委員：12人 事務局：5人 その他：7人（市役所・区役所・地域包括支援センター）
場所	南区役所 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 協議事項</p> <p>① 前回の振り返り 前任の生活支援コーディネーターより、第1回芳川圏域生活支援体制づくり協議体の振り返りをした。</p> <p>② 【情報提供】 <㈱遠鉄ストアの移動スーパーについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南浅田店が10月より移動スーパーを稼働させた。現在も木曜日以外であれば依頼の受付可能。 ・契約は個人？自治会館等に来てもらうことができるか ⇒基本契約は個人。しかし、自治会の合意があれば、個人が契約して自治会の駐車場を販売場所にすることもある。 ※契約された個人の方は必ず来てもらう。 ・日用品も買うことができるか ⇒南浅田店にあるものであれば移動スーパーで販売することができる。販売パートナーと利用者の関係ができると、他店の商品を取りに行くこともある。 ・注文票はあるか ⇒ない、積み込んだ荷物の中で選んでもらう。食品スーパーであるため食品が主。医薬品・たばこ・アルコールは扱うことができない。 ・個人契約どれくらいの金額が目途？平均は？ ⇒天竜：1件3,000円 他：1,500～2,000円 買う物が少ないと隣の家の人を呼んだり、週2回の訪問を週1回にしたりすることがある。 ・継続していけるのか ⇒2年前に移動スーパー事業を始めたが、今までに辞めた店舗はない。8台全てで売上が上がっている。週2回利用している人は本当に買い物に関して困りごとがある。買い物に関して困っている人がいる限り続いていく。

<株式会社杏林堂薬局のとくし丸について>

・値段設定はどうしているか ⇒ 店舗価格+ (1点につき) 20円

・医薬品の扱いはあるか

⇒医薬品を売ることはできない。ただし、医薬部外品は購入可能。

また、たばこ・アルコールも扱うことができない。

・注文票はあるか

⇒ないが、ネットスーパーのカタログを渡すことはできる。また、電話でも商品の依頼受付可能。

⇒カタログじゃなくて目で見て商品を選ぶことができるのが移動スーパーの良さ

⇒自由に選んで買い物を楽しんでもらいたい

・江之島町では、唯一のコンビニが今後なくなり町内のお店がゼロになる。自治会館に移動スーパーを呼びたいが、必ず利用者が来る保証はない。そうした場合でも来てもらうことできるか。

⇒対象が不特定多数でも良いが、午前中全部など長時間販売することは難しい。施設に移動スーパーが行くことはあるが、利用者20名が利用する場合でも滞在は1時間くらい。買い物に本当に困っている人に移動スーパーを利用してほしいため、行くことができても30分程の滞在が目安になる。

<買い物に関する地域の潜在的な困り感について—地域包括支援センター芳川より>

地域包括支援センター芳川より、在宅での介護問題として家族の負担が大きいことを伝え、負担がありながらも周囲の人や支援に頼らず生活が続いているケースや、自身が困っていることに気づいていないケースがあることを共有した。買い物についても地域に潜在的な困り感があるため、そのような情報があれば共有していただくように伝えた。

③ 【意見交換】地区ごとに分かれて、意見交換をした。

《芳川地区グループワーク》

■芳川地区北部…買い物できる場所は多いが、高齢者の移動に課題がある

・買い物できる場所

四本松町：杏林堂薬局芳川店

立野町：遠鉄ストア立野店・マックスバリュ浜松立野店

西伝寺町：遠鉄ストア西伝寺店

参野町：ウエルシア浜松参野町店、ユーコープさんじの店

頭陀寺町：マム頭陀寺店 など

(芳川町)

・芳川商店街のお店がつぶれてしまった。

(芳川町・安松町)

・人口多いが、高齢者が多い。

- ・国道1号・国道150号に挟まれているため、高齢者は移動が難しい。
(安松町) おうちコープを利用している人が多いと感じる。同居している子どもが高齢の親の買い物をしている印象。

■芳川地区東部…買い物できる場所まで遠い

(老間町)

- ・買い物できる場所がない。
- ・移動スーパーの依頼が数件来たため、ビレッジハウス老間には遠鉄ストアの移動スーパーが週2で来ている。現在10人程が利用。

(金折町)

- ・お店が近くにないが移動スーパーも来ていない。コンビニはある。

⇒買い物に困難さを抱えていないのか？

■芳川地区南部…畑が多く、買い物できる場所が少ない

(大柳町・鼠野町・御給町・恩地町・都盛町)

- ・畑が多く、近隣に買い物できる場所がない。大柳町にはコンビニはある。
- ⇒自分たちで野菜を育てているため野菜については困っていないのではないか。肉や魚、日用品を買いに行く際が不便。

■その他買い物について

- ・買い物ができる場所に行くことが難しい人に対して、ネットスーパーの使い方を教える講座も良いかもしれない。

《五島地区グループワーク》

■買い物できる場所について

- ・地区内にスーパーがない。個人商店も閉業してほとんどない。
地区内のコンビニ→セブンイレブン浜松松島町店、ファミリーマート遠州浜店のみ
- ・移動販売を呼べるところがあるか？→江之島町の公民館やお寺は呼べそう。

■各地域について

(江之島町)

- ・借家ゼロ。戸建ての住宅しかない。
- ・老夫婦で住んでいる世帯が多い。

(松島町)

- ・買い物できるところの情報がない

(遠州浜)

- ・移動販売の訪問が多い。
- ・お惣菜などが売っている個人商店、魚屋が閉業してしまった。

■(株)遠鉄ストア移動スーパーについて

- ・遠州浜の県営団地に何か所か移動販売出ている。
県営団地から依頼がくる→そのうち、県営団地に住む人から個人的にも依頼が来たため、その人の棟の前に移動販売車を停めて販売している。
- ・遠州浜の個人宅、20人くらい来るところもある。移動販売はひとりで対応するため、お客さんが多いとそれはそれで大変。しかし、毎回来る人数が多いことが分かっているようなところは、店舗から人を出して応援に行くなどして対応可能。

《河輪地区グループワーク》

■移動スーパーについて

- ・(河輪町下)ビオあつみのとくし丸がベルツモーター横の空き地に来ていたが、吹きさらしだったため、あきもと美容院の駐車場に拠点を移動した。
- ・(河輪町下)遠鉄ストアの移動スーパーを河輪町下の夫婦が利用し始めた。遠方に住む娘が両親を心配して、契約したようだ。旦那さんが「個人宅にわざわざ販売に来てもらって良いのか」と心配し、民生委員さんに相談しにきたため、大丈夫だと応え利用につながった。奥さんは非常に喜んでいる。今では近隣住民も2,3人利用している。
- ・(西町)遠鉄ストアの移動スーパーが個人宅で販売し始めたが、西町に住む委員の方はまだ車両を見かけたことがない。
- ・(三新町)数年前にシニアクラブで買い物の課題があがり、三新町公民館に杏林堂のとくし丸を呼んでいた。しかし、利用する人が少なかったためか、来なくなってしまった。

■河輪地区内の買い物ができる拠点

- ・(西町)ウエルシア浜松西町店
- ・(東町)セブンイレブン浜松東町店
- ・(長田町)鈴弥製麺 豚珍館 (ぎょうざ屋)

■河輪地区外だが、河輪地区の住民が買い物をする拠点

- ・(立野町)マックスバリュ浜松立野店
→150号線に遠鉄バスが通っているため、西町や東町の住民は利用することができる。
- ・(立野町)遠鉄ストア立野店
- ・(四本松町)杏林堂薬局芳川店

■遠鉄バスについて

- ・150号線を通っている。

・杏林堂薬局芳川店の東の道から松島町の浜松南車庫まで通っているが、河輪地区内を通ることはない。

→この2路線を駆使すれば、河輪地区内からバスで杏林堂薬局芳川店に行くことができる。

・南陽協働センターの職員の方は杏林堂薬局芳川店のバス停を利用し、バスで通勤しているが、高齢の方がシルバーカーを利用するなどし沢山の買い物をしてバスを利用する姿を頻繁に見るという。

■杏林堂薬局の車両について

・河輪地区内で杏林堂のニコニコマークが描いてあるラッピングカーをよく見かける。

→ネットスーパーのお届けや店舗で選んだものを家まで運んでくれるサービスで走行している。店で選んだものは、翌日以降に持ってきてくれ、2,000円以上の買い物で送料無料になる。

■自治会館について

・(三新町)三新町には、三新町公会堂だけでなく、南側に三新町下公会堂がある。現在、そちらはあまり利用されていない。

■自治会館を利用したサロンや集いについて

・(長田町)レクダンスをしている。

・(東町)三味線の集まりがある。

■グラウンドゴルフについて

・(河輪町)河原の北側にある広場では、河輪町の住民がグラウンドゴルフをしている。

・(三新町)河原の南側にある広場では、三新町の住民がグラウンドゴルフをしている。

・春と秋に年2回、地区内のグラウンドゴルフの大会を開催している。

4. 次回の協議体会議について

日時：令和6年3月6日(金) 9:30～11:00

会場：南区役所 大会議室

5. 連絡事項

6. 閉会 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 副会長

今後の見通し等	<ul style="list-style-type: none">・委員の方々には、第3回協議体会議までの期間に、新たに稼働した移動スーパー含め地域の買い物資源を把握していただく。・創出された移動スーパーの拠点を訪問・取材する。・五島地区では、地域の人が集まる拠点到移動スーパーを呼びたいと考えている。その際連絡調整役をしていく。・マップに買い物の拠点・居場所となる場を落とし込み、引き続き資源の見える化をしていき、不足している部分に新たな資源をつくっていく。